

生命の有機化学(2)

第10週：蛍光タンパク質とその生命科学への利用 (安保助教)

第11週：アイデア創出法 (2) (上杉教授)

第12週：糖と脂質を制御するアイデア (上杉教授)

第13週：癌とウイルスを制御するアイデア (上杉教授)

第14週：総まとめ演習 (上杉教授)

フィードバック週：フィードバック時間に、高等研究院本館4階（講義を行う建物の4階）の拠点長室にて待機し、自習に基づいて質問に来た学生やさらに発展的な内容を学びたい学生に対して解説を行う。

（注）反転授業であり、教室では常にアクティブな演習と議論を行う。毎回の講義で評価されるため、期末試験は行わない。

【履修要件】

高校で生物IIを履修している必要はありません。

この科目の内容は、薬学部の専門科目「生命有機化学演習」(後期提供)で薬学部生に適した形で取り上げています。従って、薬学部の学生は、そちらを履修してください。

【成績評価の方法・観点】

期末筆記試験は行わない。実際の講義の出席状況と授業内での発言や積極性(60%)、毎週講義室で行う演習(40%)により評価する。演習の評価は受講生の相互投票による。

【教科書】

リアル授業では、プレノートを配布する。

【参考書等】

（参考書）

上杉志成『京都大学 アイデアが湧いてくる講義』（祥伝社黄金文庫）ISBN:978-4-396-31718-8（本講義の基本的内容をカバーした日本語参考書）

【授業外学修（予習・復習）等】

反転授業であるので、短いビデオを前もって視聴する必要がある（毎週約30分程度）。それ以外の宿題は課さない。

ビデオは京都大学Open Coursewareで常時公開されている。

<https://ocw.kyoto-u.ac.jp/en/course/247/>

【その他（オフィスアワー等）】

< 予告 >

・講義室が50名で満席となるため、申込者数が定員を超えた場合には無作為抽選を実施します。

< 注意事項 >

・高等研究院物質 - 細胞統合システム拠点（iCeMS）本館2階（東一条交差点上ル）にて講義を行います。受講生用の駐輪スペースはありません。

< 受講者アンケートより >

・これぞ求めている授業でした。また、このような授業を受けたいです。本当にありがとうございました。

・大学っぽくて本当に面白かったです！他の般教って全然高校と大差なかったりするので。

・化学、生物学の知識だけでなく、英語やアイディアを出す方法も学べて、とてもためになりました

生命の有機化学(3)へ続く ↓ ↓ ↓

生命の有機化学(3)

た。今後に生きる授業でした。

- ・素晴らしい授業でした。感動しました。
- ・飽きさせないよう工夫されており、ありがたかった。付け焼刃の知識でも比較的対応できるように工夫されていた。
- ・前期授業で1番有意義で楽しかった授業でした。
- ・教授の知識量に圧倒されるとともに、突飛なアイデアの出し方も教えてくださり、今後の人生に活かしていきたいと思います！
- ・先生の話がとても聴衆を引き付けるもので、聞いていて様々な分野に興味を覚えた。反転授業は、非常に効率的で、他の授業でも採用してもらいたいと思った。
- ・家で見てくるビデオが本当にわかりやすく面白かった。英語のリスニングの勉強にもなり、一石二鳥だった。
- ・グループでの議論は就活のようで、いい経験になった。
- ・アイデアを出す方法を中心に、社会でうまくやっていく方法を学ぶことができたのはもちろんですが、さらにアイデアを出す際にもある程度の背景知識が必要であること、同じ年で自分とはかけ離れた量の知識を持つ人がたくさんいることを知ることができ、他の講義とは違う方向にも成長することができたと感じます。この授業を受講して本当に良かったです。ありがとうございました！

[主要授業科目（学部・学科名）]

理学部